

府民環境・厚生常任委員会 管外調査
令和元年7月25日から26日

1 大野町議会（岐阜県揖斐郡大野町）

【調査事項】

道の駅に併設した子育て支援施設の取組について

【調査目的】

大野町では、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応するため、子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点を町の玄関口である道の駅「パレットピアおおの」に併設し、利便性を図っており、その取組状況等を調査することにより、府の子育て支援施策の参考とする。

【調査内容】

大野町では、町内に建設中の東海環状自動車道・大野神戸インターチェンジ（仮称）が2019年度に供用開始となるのに合わせ、そのすぐ近くに道の駅「パレットピアおおの」を整備した。

「パレットピアおおの」は、町民だれもが日常的なやすらぎの場として利用できるとともに、町の玄関口として町外からの来訪者をもてなすことを目指しており、地元農産物の直売所やベーカリー、レストランなどがあり、敷地内の広場は、来訪者も町民もくつろげるスペースとなっている。

運営は、プロポーザルで選ばれたダイナック（東京都新宿区）が指定管理者となり、施設の管理運営費は、施設内の収入で賄うという事業スキームになっている。

「パレットピアおおの」の特徴は、子育て支援施設の併設と防災拠点施設を兼ねており、子育て支援施設の「子育てはうす ぱすてる」には、木製遊具を設置したキッズルームや図書ルーム、幼児ルームを備え、子育て親子が交流する場となっている。

また、「パレットピアおおの」は、指定緊急避難場所も兼ねており、災害時の広域防災機能を備えているとのことであった。

【主な質問事項】

- ・子育て支援施設併設に至る経過について
- ・子育て支援施設の利用者数及び利用状況について
- ・設置経過及び運営経費について など



事業概要を聴取



くつろぎの芝生広場を視察

2 愛知県議会（愛知県名古屋市）

(1) 【調査事項】

各地域での「地域循環圏」の実現について

【調査目的】

愛知県では、自動車産業を中心とした産業集積や全国有数の農業基盤、豊かな森林資源などの地域ポテンシャルを十分に生かし、これまで培ってきた資源循環の取組をさらに加速・発展させ、各地域で「循環の環」を重層的に構築する「地域循環圏」の実現を目指した「あいち地域循環圏形成プラン」を策定しており、その取組状況を調査することにより、府の持続可能な循環型社会の推進に向けた施策の参考とする。

【調査内容】

あいち地域循環圏形成プランでは、これまで培ってきた先導的な資源循環の取組の幅広い普及や新たな循環ビジネスの創出・事業化を支援・促進し、産業・技術の集積を生かしたモノづくり過程での資源循環をリードする技術・事業の普及・発展を図るための取組を推進しており、そのため、持続可能な地域づくりにつなげるための新たな循環モデルとして、以下の3つの広域循環モデルの具体化を目指している。

- ① 地産地消の推進と一体となった食品循環ループ
- ② 森林保全対策等と連携した里山循環圏モデル
- ③ 農畜産場等を核とした分散型バイオマス活用モデル

さらに、循環ビジネスの振興が必要であるため、循環ビジネスの発掘・創出・事業化を推進するとともに、多様な主体の連携促進、人づくりと情報発信に取り組んでいるとのことであった。

【主な質疑】

- ・ バイオマス発電に係る初期費用等について
- ・ 食品廃棄物処理を循環（ループ）に取り込むことの意義について
- ・ 各取組の進捗状況について
- ・ ビジネスモデルとしての収支状況について など

(2) 【調査事項】

認知症に理解の深いまちづくりの推進について

【調査目的】

愛知県では、認知症に関係する保健・医療・福祉の専門機関が集積する「あいち健康の森」を中心として、周辺地域が一体となって「認知症に理解の深いまちづくり」の先進モデルを目指すため、愛知県がコーディネーターとなり、「あいちオレンジタウン構想」を策定し、地域づくりと研究開発等の両面から取組を推進していることから、その取組状況等を調査することにより、府の認知症対策の参考とする。

【調査内容】

急速な高齢化の進展に伴い、今後、認知症高齢者の大幅な増加が見込まれる中、愛知県は、「あいちオレンジタウン構想」を平成29年9月に策定した。構想の基本理念として「地域で暮らし、学び、働く人々が、『認知症に理解の深いまちづくり』に『じぶんごと』として取り組む社会の実現」を掲げ、次の4項目のアクションプランに取り組んでいる。

- (1) 既存の社会資源の機能強化〈アクションプラン1〉
 - ① 医療資源・介護資源の機能強化
 - ② 医療・介護専門職の家族介護者支援力向上
 - ③ 若年性認知症の人への早期相談支援体制づくり
- (2) 新たな社会資源(企業・大学)の巻き込み〈アクションプラン2〉
- (3) 社会資源の有機的連携〈アクションプラン3〉
- (4) 産学官連携による共同研究等の推進〈アクションプラン4〉

この構想は、国の新オレンジプランの目標設定年度である令和2（2020）年度までのアクションプランに加えて、令和7（2025）年度までの中長期的な取組も示し、推進に取り組んでいるとのことであった。



事業概要を聴取

3 豊田市役所【於：とよたエコフルタウン】（愛知県豊田市）

【調査事項】

環境モデル都市の取組について

【調査目的】

豊田市では、先進的な取組により温室効果ガス排出を大幅に削減し、国から『環境モデル都市』として選定されるなど、活気のあふれる低炭素社会に向けて、さまざまな取組を進めていることから、その取組状況等を調査することにより、府の地球温暖化対策とエネルギー政策の推進位に向けた施策の参考とする。

【調査内容】

豊田市は、環境先進都市となるため、環境モデル都市アクションプランを定め、次の5項目に取り組んでいる。

- 1 エネルギー地産地消モデルの構築（民生）
再生可能エネルギー、スマートハウスの普及促進、エコライフの推進 等
- 2 次世代型低炭素交通システムの導入（交通）
次世代自動車の普及促進、公共交通の利用促進、道路ネットワークの形成 等
- 3 活力ある物づくりの基盤の強化（産業）
サステナブル・プラント（*）への移行促進、環境産業の育成支援、工業団地における地域熱・電力共有システムの構築と運用実証
* 自然を活用し、自然と調和する工場づくりを目指した工場運営に取り組んでいく活動
- 4 豊かな自然と持続可能な農山村の育み（森林）
健全な人工林づくりの推進、木材の利用促進
- 5 未来の暮らしを国内外に情報発信（都心）
環境モデル都市情報発信事業、人と緑の都心づくり

特に、民生部門では、全国初となるスマートハウス減税（新築・既築のスマートハウスの固定資産税を1/2減免）や再生エネルギー発電設備の減税（国の認定を受けた10Kw～2,000Kw未満の発電設備の固定資産税を1/3減免）などの補助制度の導入や家庭における取組を推進するため「とよたエコポイント制度」を設けるなど、環境先進都市としての取組を推進しているとのことであった。

【主な質疑】

- ・CO2削減等の実績の把握状況について
- ・スマートハウス減税の実績について
- ・環境モデル都市の取組の全国への展開状況について など



事業概要を聴取



次世代水素自動車を視察

4 岐阜県庁【於：県立岐阜希望が丘特別支援学校】（岐阜県岐阜市）

【調査事項】

障がい者のための施設の一体的整備による障がい者福祉の推進について

【調査目的】

岐阜県では、障がい者のための福祉、医療、教育、文化芸術、スポーツ及び就労施設を一体的に整備し、この地域を「ぎふ清流福祉エリア」と名付け、障がい者支援の拠点として展開していることから、その取組状況等を調査することにより、府の障がい者支援施策の参考とする。

【調査内容】

ぎふ清流福祉エリアには、次の施設が集積されている。

- 1 障がい者総合相談センター
身体、知的、精神の三障がいの一元的な相談支援を行う機関
- 2 希望が丘こども医療福祉センター
障がいがある子どもの診療やリハビリ、入所や通園などを行う障がい児療育の拠点
- 3 岐阜希望が丘特別支援学校
身体に障がいがある児童生徒に対して、小学部から高等部までの一貫した教育を行う学校
- 4 ぎふ清流文化プラザ
県民と障がい者による文化芸術活動の拠点
- 5 中央子ども相談センター
子どもに関する相談、支援を行う施設
- 6 岐阜県福祉友愛プール
障がい者等が通年で利用できる屋内温水プール
- 7 清流園
障がい者の生活や就労を支援する施設
- 8 岐阜県福祉友愛アリーナ
障がい者が車いすバスケットボールなどの室内競技に利用できる体育館
- 9 障がい者総合就労支援センター
障がい者の就労に係る相談から訓練、職場定着までを総合的に支援する施設（令和2年度中にオープン予定）
- 10 木のふれあい館（仮称）
幅広い年齢層の方が森や木に親しみ、森林とのつながりを体験することができる「ぎふ木育」の拠点施設（令和2年度中にオープン予定）

これら10施設を一つのエリアに一体的に集積することにより、各施設相互の機能の高度化や効率化を図ることができるとともに、福祉、医療、教育からスポーツ及び就労まで総合的な障がい者支援を展開しているとのことであった。

【主な質疑】

- ・ 医師及び歯科医の配置状況等について
- ・ 各施設の職員の勤務状況等について
- ・ 同じ施設に複数施設が設置されていることのメリットについて など



全施設の概要を聴取



希望が丘こども医療福祉センターを視察